

日本大学医学部内科学系統合和漢医薬学分野

1. 本教室の沿革

当講座は、平成12年1月より株式会社ツムラによる特別寄附講座・日本大学医学部東洋医学講座として医学部キャンパスの臨床教育棟5階に開設された。同年4月より、科長以下3人の常勤医師により附属板橋病院2階で東洋医学科外来診療を開始した。東洋医学科外来には、診療用ブースは2つあり、2診体制で診療を行っている。

平成5年より付属練馬光が丘病院東洋医学外来において、練馬区の招請により中国人の中医学医師による診療（月曜日・水曜日・金曜日の午後のみ）が行われていた。練馬区の中国人医師の招聘中止により、平成15年を2月よりその診療を当教室が引き継ぎ、診療を行っている。

平成18年8月より、常勤医師は助手として日本大学教員になった。

平成19年4月より、学内の組織改編により内科学系統合和漢医薬学分野となり、8月より矢久保修嗣が准教授に就任し、12月より分野主任となった。平成21年5月には、木下優子が緩和ケア室室長となり、緩和ケアも行っている。これに加えて、日大板橋病院がん患者・家族会の活動を本教室の医療員が支援している。

2. 人員の構成

平成22年12月31日における、教室の人員は以下のようになっている。

准教授・科長 矢久保 修嗣
助教・外来医長、緩和ケア室室長 木下 優子
助手・常勤医師 上田 ゆき子
兼任講師 室賀 一宏
兼任講師 浜野 公成
兼任講師 新見 正則
臨時職員・非常勤医師 小泉 久仁弥
臨時職員・非常勤医師 種倉 直道
臨時職員・非常勤医師 横瀬 友好
臨時職員・非常勤医師 安藝 竜彦
臨時職員・非常勤医師 山根 理子
研究医員 奥平 智之
研究医員 山口 千枝
研究医員 根本 安人
研究医員 笹沼 俊文
研究医員 芝 恵美子
医療員 内山 知子
医療員 川畑 伸子

医療員 嶺 輝子

医療員 佐々木 弘

3. 診療について

(1) 外来診療について～板橋病院と練馬光が丘病院

月曜日～金曜日の午前・午後、土曜日午前（7～8月は病院が土曜日休診）、附属板橋病院東洋医学科外来において、2つの診察ブースを使って2人の医師による診療を行っている。漢方薬による治療はエキス剤を中心に行っている。生薬による漢方治療の患者も増加してきている。

前述のように、平成15年を2月より、付属練馬光が丘病院の東洋医学外来でも診療を行っている。現在は、同病院では水・金曜日の午後に、1つの診察ブースを使って行っている。

(2) 病棟診療について～板橋病院

悪性腫瘍患者の疼痛管理を行う緩和ケアチームで、病棟における悪性腫瘍患者の疼痛軽減やADL向上などに対して、モルヒネ製剤ばかりでなく漢方薬による治療を行っている。

また、患者の栄養状態を改善させる栄養サポートチーム（NST）でも、栄養状態の悪化した患者の摂食量改善のために漢方薬を役立てるべく努力をしている。

4. 教育について

(1) 卒前教育

当教室発足後の平成13年度より、6年生を対象とした『医学医療総論』において、系統的な漢方医学の講義（5コマ）を行ってきた。平成20年度より後述するように4年生で系統的な漢方医学の講義を行うことになった。本学の漢方医学教育システムは以下の通りである。

1) 本学1年生を対象とした『医学序論』において“東洋医学の現状と将来”（1コマ）がある。漢方医学も含めた東洋医学に関して、その内容や臨床的意義を紹介している。

2) 本学3年生では『消化器・腹壁・腹膜（肝胆脾）領域』のユニットで“消化器疾患”に関して2コマ。これに加えて、『腎・泌尿器・生殖器疾患領域』でも“腎・泌尿器疾患，女性にみられる疾患”に関して3コマの授業を行っている。この授業についてはユニット終了時に試験を行っている。

3) 昨年から4年生の社会医学系『生活環境・職業と疾患領域』のユニットに、“漢方医学”とし

てまとまった8コマの授業を行うようになった。これに加えて本年度より“漢方医学実習”を2コマ行うことになった。この時間が系統的な漢方医学の時間となる。これもユニット終了時に試験がある。このほか、漢方医学4コマがあり、計12コマの授業を行っている。

4) 本学6年生には必修の『医学・医療総論』のユニットに“漢方医学”(4コマ)がある。鍼灸などの講義を行ってきた。ユニット終了後の試験がある。

これに加えて、『自由選択学習』がある。学生が自由に選択するもので、医局や外来で、連日5週間にわたりそれぞれの学習を行うものである。私たちの漢方医学コースの定員は4名である。

(2) 卒後教育

平成17年度には、初めての研修希望医師を受け入れ、3ヶ月間ではあったが外来に於ける漢方診療の臨床を指導した。

現在、院内の研修希望医師に対して個別に漢方診療に対する指導を行っている。その他、症例検討や古典などの抄読会や参加を計画している。

また、初期研修医に対しては希望があれば、東洋医学科外来における漢方診療の教育が行われるようになっている。

日本東洋医学会は厚生労働省より専門医資格認定団体として認可され、平成17年8月9日より、日本東洋医学会認定漢方専門医の標榜が可能となった。専門医受験資格には3年間の研修が義務づけられており、当教室も日本東洋医学会より、平成18年3月に研修施設認定を取得した。現在、受験資格取得希望者に対して研修を行っている。この結果、平成22年には、当教室より2名の認定漢方専門医が誕生する。

(3) 他校における漢方医学教育

日本薬科大学、埼玉県立大学においても漢方医学教育を行っている。

5. 研究について

漢方医学的病態を解明するため自律神経機能に関して、腹証と副交感神経活動や交感神経活動の関連、胸脇苦満による自律神経活動に関する検討を行った。これに加えて脈診に関するものとして、弾性チューブの断面積を変化させた時の圧力変化を理工学部と研究した。

教育に関しては、腹証シミュレータの評価、健康教育を将来担う大学生(埼玉県立大学)に対する漢方医学教育、日大における漢方医学教育の内容を発表した。

精神科領域では、統合失調症治療における抑肝散の効果、多汗症に対する漢方治療、睡眠相後退症候群患者に対する漢方治療を発表した。

この他、漢方外来における食事指導、防風通聖散を取り入れた運動指導などを検討した。

がん対策においては、緩和ケアにおける漢方治療、がん患者・家族会やサイモントン・プログラムなどについて発表を行ってきた。

症例報告としては、精神科領域では、向精神薬と抑肝散の併用による高齢者の統合失調症、不安障害に対する温経湯、甘麦大棗湯による非定型うつ病患者に伴う過食傾向、抗精神薬と抑肝散の併用療法が有用であった統合失調症、六君子湯の併用による老年期うつ病などの症例報告を行った。

耳鼻科領域では、柴胡加竜骨牡蛎湯による自声強聴を伴った耳閉塞、補中益気湯による乳児期発症の反復性中耳炎、補中益気湯による低体温と後鼻漏の改善、などを発表した。

この他、治療抵抗性の頭痛治療の際の腹診、更年期障害治療における虚実の判定、胸郭出口症候群の漢方治療などの症例報告を行った。

6. 原著論文、総説、症例報告など

- 1) 矢久保修嗣, 木下優子, 上田ゆき子, 新見正則, 藤田之彦, 太田浩: 腹診シミュレータに対する漢方教育担当者による評価. 漢方と最新治療 19: 55-61, (2010.2.15)
- 2) 内山知子, 木下優子, 矢久保修嗣: 日本大学医学部附属板橋病院におけるサイモントン療法の取り組みについて. 板橋区医師会医学会誌 2009-Vol.14:186-187, (2010.3.29)
- 3) 伊藤隆, 矢久保修嗣: 第60回日本東洋医学会学術集会教育講演 論文を投稿しよう. 日本東洋医学会誌 61: 213-226, (2010)
- 4) 奥平智之: 統合失調症治療における補助療法としての抑肝散導入の試み. 漢方医学 34(2):135-137, (2010)
- 5) 木下優子: 緩和ケアにおける漢方治療. 産婦人科 漢方研究のあゆみ 27: 1-4, (2010.4.20)
- 6) 丸山綾, 矢久保修嗣, 木下優子, 上田ゆき子, 安藝竜彦, 奥平智之, 田中均, 山根理子, 山口千枝, 小泉久仁弥: 更年期障害治療において虚実に関する証の重要性を認識した1例. 産婦人科 漢方研究のあゆみ 27: 93-95, (2010.4.20)
- 7) 上田ゆき子, 矢久保修嗣, 木下優子, 濱野公成, 山口千枝, 安藝竜彦, 山根理子, 奥平智之, 種倉直道, 小泉久仁弥: 脾胃を整える漢方に変方して症状が改善した胸郭出口症候群の症例. 痛みと漢方 20: 68-71, (2010.6.1)

- 8) 奥平智之, 矢久保修嗣, 木下優子, 上田ゆき子, 安藝竜彦, 根本安人, 大賀健太郎: 向精神薬と抑肝散の併用が有効であった統合失調症・高齢患者の1例. 日大医学雑誌 69:212-214, (2010.6.1)
 - 9) 相田賢司, 高田眞一, 千島史尚, 山本樹生, 木下優子, 白土辰子, 村上正人, 前林俊也: 婦人科がんで難渋する症状に対応する-腫瘍からの出血, 瘻孔の処置- 緩和ケア 20:237-241, (2010)
 - 10) 矢久保修嗣, 木下優子, 上田ゆき子, 濱野公成, 小泉久仁弥, 横瀬友好, 安藝竜彦, 種倉直道, 山口千枝: 腹証と交感神経活動の関連. 漢方と最新治療 19: 247-250, (2010.8.15)
 - 11) 畠山昌士, 武居昌宏, 矢久保修嗣: 弾性チューブの断面積を変化させた時の圧力変化. 可視化情報 30(Suppl. 2): 37-38, (2010.10)
7. その他著作
- 1) 矢久保修嗣: 冷えのメカニズムを知って冷え取り対策. ウー・ウエンの体をあたためるレシピ, 2010.1.1, 家の光協会, pp.90-95
 - 2) 矢久保修嗣: 日本で初めて行った漢方実習. 活 52(1): 9, 2010.1.5, 財団法人日本漢方医学研究所 漢方友の会
 - 3) 木下優子: 漢方診療室10「つらい花粉症 でもスギだけが悪者なの?」. 読売生活情報誌リエール 2月号: 23, 2010.1
 - 4) 上田ゆき子: 冬の健康管理「冬こそ強い身体と心! 食生活でつくみましょう。」. Nurse Call 2 & 3 合併号: 3-6, 2010.2.15
 - 5) 種倉直道: スピリチュアル気功(佐藤式気功)について, おけら 1: 34-37, 2010
 - 6) 奥平智之: 精神科における統合失調症治療と漢方~防風通聖散を取り入れた運動指導~, おけら 1: 4-6, 2010
 - 7) 木下優子: 漢方診療室12「漢方医は漢方マニア?」. 読売生活情報誌リエール4月号: 25, 2010.3
 - 8) 木下優子: 編集後記. 日大病院病院だより 34号: 18, 2010.4
 - 9) 木下優子: 漢方診療室14「漢方にもある口の痛みの薬」. 読売生活情報誌リエール 6月号: 25, 2010.5
 - 10) 木下優子: 漢方診療室16「真実はいつも患者さんの中に」. 読売生活情報誌リエール8月号: 25, 2010.7
 - 11) 木下優子: 座談会「漢和ケアに漢方を」. 漢方と診療 1(3): 2-13, 2010.8.15
 - 12) 矢久保修嗣: がん相談支援センターだより「日本大学板橋病院がん患者会・家族会の活動」. 日大板橋病院だより MEDICAL NETWORK 35: 裏表紙, 2010.8, 日本大学医学部附属板橋病院
 - 13) 木下優子: 漢方診療室18「がん治療では漢方は名脇役!」. 読売生活情報誌リエール 10月号: 25, 2010.9
 - 14) 奥平智之: 統合失調症による抑肝散は有効か? ~抑肝散併用による向精神薬の減量の試み~, おけら 2: 15-17, 2010
 - 15) 木下優子: 漢方診療室20「口に美味でも、体によいとは限らない?」. 読売生活情報誌リエール 12月号: 25, 2010.11
8. 学会・研究会発表(一般演題)
- 1) 芝 恵美子, 矢久保修嗣, 木下優子, 上田ゆき子, 濱野公成, 小泉久仁弥, 根本安人, 安藝竜彦, 奥平智之: 低体温と後鼻漏の改善が補中益気湯により得られた1例. 第19回 日本東洋医学会埼玉県支部会, さいたま, 2010.2.21
 - 2) 安藝竜彦, 奥平智之: 不安障害に温経湯を試みた1例. 第20回埼玉県西部地区東洋医学研究会, 川越, 2010.3.10
 - 3) 奥平智之, 安藝竜彦: 多汗症に対する漢方治療~難渋している例を通じて~. 第20回埼玉県西部地区東洋医学研究会, 川越, 2010.3.10
 - 4) 奥平智之, 矢久保修嗣, 木下優子, 安藝竜彦, 上田ゆき子, 芝恵美子, 芹澤秀和, 根本安人, 大賀健太郎: 非定型うつ病患者にみられる過食傾向に対する甘麦大棗湯の有用性. 第46回日本東洋医学心身医学研究会, 東京, 2010.3.13
 - 5) 奥平智之, 千葉裕明, 矢久保修嗣, 木下優子, 上田ゆき子, 鈴木康弘, 大賀健太郎: 睡眠相後退症候群患者に対する漢方医学的アプローチ. 第497回日大医学会例会, 日本大学医学部(東京), 2010.5.22
 - 6) 矢久保修嗣, 木下優子, 上田ゆき子, 濱野公成, 小泉久仁弥, 横瀬友好, 奥平智之, 安藝竜彦, 山口千枝, 根本安人, 新見正則, 北中進: 腹証と副交感神経活動の関連. 第61回日本東洋医学会学術集会, 名古屋, 2010.6.6
 - 7) 奥平智之, 矢久保修嗣, 木下優子, 上田ゆき子, 長瀬幸弘, 阿部又一郎: 精神科外来における防風通聖散を取り入れた運動指導の有用性. 第61回日本東洋医学会学術集会, 名古屋, 2010.6.6
 - 8) 上田ゆき子, 矢久保修嗣, 木下優子, 種倉直道, 濱野公成, 奥平智之, 安藝竜彦: 当院漢方外来における食事指導の実際. 第11回国際統合医学会学術集会, 東京, 2010.7.17-18,
 - 9) 矢久保修嗣, 木下優子, 上田ゆき子, 藤田之彦, 新見正則, 小牧宏一: 健康教育を将来担う大学生に対する漢方医学教育. 第42回日本医学教育学会大会, 東京, 2010.7.30-31
 - 10) 矢久保修嗣, 木下優子, 上田ゆき子, 濱野公成,

- 小泉久仁弥, 山口千枝, 奥平智之, 新見正則, 北中進, 飯島洋: 胸脇苦満による自律神経活動の評価. 第27回和漢医薬学会学術集会, 京都, 2010.8.28-29
- 11) 矢久保修嗣, 木下優子, 上田ゆき子, 小泉久仁弥, 濱野公成, 種倉直道, 安藝竜彦, 新見正則, 藤田之彦, 小牧一宏: 健康教育を将来担う大学生に対する漢方医学教育の目標. 第27回和漢医薬学会学術集会, 京都, 2010.8.28-29
- 12) 奥平智之, 芝恵美子, 安藝竜彦: 慢性的な食欲不振と軽度嘔気が前景にあった老年期うつ病に対してduloxetineと六君子湯の併用が有用であった1例. 第52回日本老年医学会関東甲信越地方会及び教育企画, 東京, 2010.9.3
- 13) 奥平智之: 精神科外来における慢性期統合失調症に対する心理・漢方医学的アプローチ. 第52回日本老年医学会関東甲信越地方会及び教育企画, 東京, 2010.9.3
- 14) 奥平智之, 矢久保修嗣, 木下優子, 上田ゆき子, 芝恵美子, 安藝竜彦, 根本安人, 青木浩義, 大賀健太郎: 非定型うつ病患者に伴う過食傾向に対して甘麦大棗湯が有用であった2例. 第17回日本東洋医学会関東甲信越支部 栃木県部会学術集会, 宇都宮, 2010.9.26
- 15) 矢久保修嗣, 木下優子, 上田ゆき子, 内山知子, 嶺輝子, 佐々木弘, 川畑伸子: 日本大学医学部附属板橋病院におけるがん患者・家族会について. 第15回板橋区医師会医学会, 東京, 2010.9.25-26
- 16) 奥平智之, 矢久保修嗣, 上田ゆき子, 根本安人, 安藝竜彦, 芝恵美子: 自声強聴を伴った耳閉塞に対して柴胡加竜骨牡蛎湯が奏功した慢性統合失調症の1例. 第499回日大例会, 日本大学医学部(東京), 2010.9.25
- 17) 芝恵美子, 矢久保修嗣, 上田ゆき子, 奥平智之: 乳児期発症の反復性中耳炎に対して補中益気湯による早期介入が有効であった一例. 第26回日本耳鼻咽喉科漢方研究会学術集会, 東京, 2010.10.2
- 18) 奥平智之, 矢久保修嗣, 上田ゆき子, 芝恵美子, 安藝竜彦, 根本安人, 大賀健太郎: 抗精神薬と抑肝散の併用療法が有用であった統合失調症の3例. 第67回日本東洋医学会関東甲信越支部学術総会, さいたま, 2010.10.17
- 19) 奥平智之: 統合失調症患者のレジリアンスと漢方医学的関わりに対する一考察. 第8回日本予防医学学会学術総会, 金沢, 2010.12.11-12
- 20) Masashi HATAKEYAMA, Masahiro TAKEI, Shuji YAKUBO: Pressure measurement in elastic tube changing cross section area. The 5th International Symposium on Advanced Science and Technology in Experimental Mechanics, Kyoto, JAPAN, November 4-7, 2010
- 21) 上田ゆき子: 第11回国際統合医学会学術集会優秀論文として表彰「当院漢方外来における食事指導の実際」. 2010.7.18, 第11回国際統合医学会学術集会
- ## 9. シンポジウムなど
- 1) 木下優子: (シンポジウム: 緩和ケアと漢方). 平成21年度 兵庫・大阪・京都 三県合同教育講演会, 2010.2.21, 神戸
- 2) 木下優子: がん診療連携拠点病院医師の立場から (シンポジウム: がん緩和ケアの地域連携ネットワークの課題). 第20回城北緩和医療研究会学術講演会, 2010.3.6, 東京
- 3) 木下優子: 月経前緊張症と月経困難症に対する漢方治療の考え方(シンポジウム: 女性のQOL改善と漢方-月経前症候群(PMS)と月経困難症-). 第61回日本東洋医学会学術集会, 2010.6.5, 名古屋
- 4) 木下優子: 緩和ケアにおける漢方療法の現状と今後(シンポジウム: 緩和医療を多角的に考える). 第4回日本緩和医療薬学会年会, 2010.9.25, 鹿児島
- 5) 木下優子: 臨床医学の立場から(シンポジウム: 歯科東洋医学にエビデンスを). 第28回日本歯科東洋医学会学術大会, 2010.11.7, 奥羽大学
- ## 10. 学会・研究会発表(座長)
- 1) 矢久保修嗣, 福澤嘉孝: 一般演題プログラム教育①. 第61回日本東洋医学会学術集会, 名古屋, 2010.6.6
- 1) 渡邊一幹, 矢久保修嗣: 一般演題プログラム悪性腫瘍. 第61回日本東洋医学会学術集会, 名古屋, 2010.6.6
- ## 11. 講演など
- 1) 木下優子: 第16回 慈漢会 漢方勉強会「実践漢方講座“頻用処方解説”」. 2010.1.15, 東京
- 2) 木下優子: 女性外来担当医師のための漢方入門セミナー「女性外来担当医師に、これだけは知ってほしい漢方の基礎知識と患者さんの診かた」[明日から実践できる、漢方診断の実技編(腹診・脈診の実際)]. 2010.1.17, 東京
- 3) 木下優子: 第9回沖繩「全人的医療」研究会特別講演「緩和ケアと漢方治療」. 2010.1.20, 那覇
- 4) 矢久保修嗣: 杏林漢方研究会 第2回「呼吸器領域の漢方治療～六病位の考え方を中心に～」. 2010.1.21, 三鷹
- 5) 木下優子: 第19回性差医療ネットワーク東京

- 支部学術講演会「女性医療における実践漢方処方その1」. 2010.1.24, 東京
- 6) 奥平智之：第22回川越若手漢方医会「精神科における漢方医学的診察の一考察」. 2010.1.26, 川越
 - 7) 木下優子：第11回御茶ノ水東洋医学フォーラム「緩和ケアにおける漢方の役割」. 2010.1.28, 東京
 - 8) 新見正則：漢方入門セミナー5回シリーズ 日常診療に役立つ漢方薬～まず自分・家族に処方してみよう！～「漢方薬の打率を上げるには？～桂枝茯苓丸・大柴胡湯・八味地黄丸を覚えて帰ろう～」. 2010.1.28, 東京
 - 9) 木下優子：第3回四国漢方セミナー「緩和ケアと漢方」. 2010.1.30, 高知
 - 10) 木下優子：漢方薬 Make it 「冷え・痛みの漢方治療」. 2010.2.3, 新座
 - 11) 木下優子：第3回4大学緩和医療合同研修会・第6回滋賀在宅ホスピス緩和ケア研究会 合同研修会 教育講演「緩和ケアと漢方」. 2010.2.14, 大津
 - 12) 木下優子：緩和ケア講習会「緩和ケアにおける漢方薬の生かし方」. 2010.2.17, 自治医科大学
 - 13) 矢久保修嗣：杏林漢方研究会 第3回「消化器領域・不定愁訴に対する漢方治療～気血水の考え方を中心に～」. 2010.2.18, 三鷹
 - 14) 木下優子：臨床医のためのやさしい漢方セミナー「漢方処方の実際(冷え症・消化器)」. 2010.2.28, 旭川
 - 15) 木下優子：女性漢方セミナー「女性診療に役立つ漢方薬(冷え症・不定愁訴)」. 2010.3.7, 大分
 - 16) 木下優子：こころにやさしい漢方ゼミ「心療内科領域で役立つ漢方薬 ～ストレス・不眠を中心に～」. 2010.3.10, 東京
 - 17) 矢久保修嗣：Capnocytophage感染症の現状と具体予防方法「Q熱診療経験医師の立場から」. 2010.3.13, 日本大学医学部
 - 18) 木下優子：女性外来担当医師のための漢方アドバンスセミナー～ストレス・心身症を中心に～「ストレス・心身症を中心に」漢方診断の実技編」. 2010.3.13-14, 東京
 - 19) 矢久保修嗣：杏林漢方勉強会 第4回「高齢者疾患・メンタル疾患に対する漢方治療 ～五臓を中心に～」. 2010.3.18, 三鷹
 - 20) 木下優子：緩和医療とKAMPO ～ Supportive careにおけるKAMPOへの期待～「緩和ケアにおける漢方の役割」. 2010.3.27, 札幌
 - 21) 矢久保修嗣：Zoonosis協会設立記念セミナー「カプノサイトファーガ」感染症発症事例. 2010.3.27, 日本大学医学部
 - 22) 木下優子：山口大学附属病院「女性診療外来」開設7周年記念市民公開講座「『女性と漢方』～伝統医療で目指す健康美人～」. 2010.4.4, 山口大学医学部
 - 23) 木下優子：第18回慈漢会漢方勉強会「実践漢方講座“頻用処方解説”」. 2010.5.7, 東京
 - 24) 木下優子：知って得する漢方薬の使い方3rd 「知ってHAPPY! 効いてHAPPY! 知らなきゃ損する漢方薬」. 2010.5.14, 名古屋大学医学部附属病院
 - 25) 木下優子：女性漢方ステップUPセミナー. 2010.5.30, 大分
 - 26) 木下優子：やさしく学べる実践漢方. 2010.6.12, 福岡
 - 27) 木下優子：第21回岩手漢方臨床研究会 特別講演「緩和医療と漢方」. 2010.6.22, 盛岡
 - 28) 木下優子：第2回ターミナルケアUpDateセミナー「緩和ケアと漢方」. 2010.6.30, 日本大学医学部
 - 29) 木下優子：女性外来担当医師のための漢方入門セミナー「女性外来担当医師に、これだけは知って欲しい漢方の基礎知識と患者さんの診かた」明日から実践できる、漢方診断の実技編(腹診・脈診の実際)」. 2010.7.3-4, 大阪
 - 30) 木下優子：インハウスラーニング～緩和ケアにおける癌性疼痛治療について～. 2010.7.5, 東京
 - 31) 木下優子：実践！池袋漢方講座～木下先生と症例を検討してみませんか？～【精神疾患編】. 2010.7.13, 東京
 - 32) 木下優子：第5回あさひ漢方講演会「緩和ケアと漢方」. 2010.7.14, 旭中央病院
 - 33) 木下優子：第24回ハートフル漢方研究会「漢方における養生」緩和ケアと漢方」. 2010.7.24, 大阪
 - 34) 木下優子：木下優子先生のためしてKampo「不定愁訴と漢方」. 2010.7.28, 東京
 - 35) 木下優子：女性外来診療担当医師の漢方アドバンスセミナー～婦人科疾患編～「婦人科疾患」漢方診断の実技編」. 2010.7.31-8.1, 名古屋
 - 36) 木下優子：緩和医療とKAMPO「緩和ケアにおける漢方の役割」. 2010.8.5, 東京歯科大学市川総合病院
 - 37) 奥平智之：第20回池袋若手漢方医会「精神科領域の六君子湯とグレリン」. 2010.8.6, 東京
 - 38) 木下優子：第18回徳島女性医学研究会「緩和医療における漢方の役割」. 2010.8.19, 徳島
 - 39) 佐々木弘：第21回城北緩和医療研究会学術講演会 パネルディスカッション「闘病体験を患者・家族支援へ生かす試み」. 2010.8.21, 東京
 - 40) 木下優子：平成22年度上期 臨床研修指導医のための関東甲信越漢方医学セミナー「漢方の基礎・臨床応用」. 2010.9.5, 東京
 - 41) 木下優子：木下優子先生に学ぶ漢方入門セミナー「漢方の効果的な使い方・明日から使える

- 漢方薬」. 2010.9.12, 福岡
- 42) 矢久保修嗣：第3回漢方医学セミナー「臨床に活かせる漢方」. 2010.9.15, 兵庫医科大学
 - 43) 木下優子：簡単！実践漢方セミナー「すぐに役立つ5処方・不定愁訴の漢方」. 2010.9.25, 名古屋
 - 44) 木下優子：木下優子先生のためしてKampo「高齢疾患と漢方」. 2010.9.29, 東京
 - 45) 木下優子：がん性疼痛に対する治療. 2010.10.13, 船橋
 - 46) 木下優子：べにばなの里やまがた漢方塾「処方解説（高齢者・冷え症・疼痛）」. 2010.10.24, 山形
 - 47) 矢久保修嗣：勤務医のための漢方セミナー～明日からの診療に役立つ入門編～. 2010.11.7, 札幌
 - 48) 矢久保修嗣：臨床研修指導医のための漢方医学セミナー「漢方医学の基礎知識・腹診実技・疾患別処方解説」. 2010.11.14, 東京
 - 49) 木下優子：実践！池袋漢方講座 第1回「気の治療の秘訣教えます編」. 2010.11.30, 東京
 - 50) 木下優子：第20回順天堂練馬病院緩和ケア学習会・第7回順天堂城西漢方医学研究会 合同企画 緩和ケア・漢方講演会「緩和ケアに漢方を！」. 2010.12.10, 順天堂大学練馬病院
 - 51) 矢久保修嗣：東京原宿ロータリークラブ卓話「インフルエンザを漢方で治す！」. 2010.12.21, 東京

12. 放送など

- 1) 矢久保修嗣：TBSラジオ「健康談話室」2010.6.6放送「これからの漢方治療(1)」
- 2) 矢久保修嗣：TBSラジオ「健康談話室」2010.6.13放送「これからの漢方治療(2)」
- 3) 矢久保修嗣：TBSラジオ「健康談話室」2010.6.20放送「これからの漢方治療(3)」
- 4) 矢久保修嗣：TBSラジオ「健康談話室」2010.6.27放送「これからの漢方治療(4)」
- 5) 矢久保修嗣：毎日放送「知っとこ！」2010.7.10放送「夏の冷え症」
- 6) 木下優子：TBSテレビ「ひるおび！」2010.8.4放送「夏バテについて」

13. 取材

- 1) 木下優子：お医者さんの漢方で毎日をもっと快適に！. 日経ウーマン 4月号：93-95, 2010.3.7
- 2) 矢久保修嗣：知って得する高血圧予防23. 日刊スポーツ 2010年8月28日：27, 2010.8.28
- 3) 矢久保修嗣：知って得する高血圧予防24. 日刊スポーツ 2010年8月29日：24, 2010.8.29
- 4) 木下優子, 矢久保修嗣：日本大学産官学連携知財センター(NUBIC). 桜門春秋 122:10, 2010.8
- 5) 矢久保修嗣：なかなか抜け出せない不調に漢方が効く！. 日経ヘルス・フォーメン 2010年8月号：

83-87, 2010.9.29

- 6) 上田ゆき子：今すぐ始める、漢方生活. anan漢方BOOK「ココロとカラダに効く漢方」, pp53-61, マガジンハウス, 2010.11.15
- 7) 矢久保修嗣：血液の滞り一因 全身調整を 冷え基本は食事、運動、入浴. 東京新聞2010年12月14日：10, 2010.12.14
- 8) 矢久保修嗣：血液の滞り一因 全身調整を 冷え基本は食事、運動、入浴. 東京新聞 TOKYO Web, 2010.12.14

14. 研究会協力

- 1) 木下優子：がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会. 2010.10.9-10, 東京医科大学八王子医療センター
- 2) 内山知子：東京慈恵会医科大学附属病院 緩和ケア講習会. 2010.11.13-14, 東京慈恵会医科大学